

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和5年1月17日

協議会名： 安田町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
安田町	<p>【路線定期運行】</p> <p>①東島線 ②東谷線</p> <p>【区域運行】</p> <p>③中里線 ④中ノ川線</p>	<p>これまでの地区別意見交換会や利用者アンケート等の結果をもとに運行ダイヤの見直しを行った。(令和4年10月(令和5年度)から新ダイヤで運行)その際、路線バスと鉄道との接続を考慮したダイヤとしている。</p> <p>デマンド地区では利用促進のチラシのポスティングを行った他、路線地区では令和4年10月からの新ダイヤ等の周知を図るとともに、意見交換会を実施した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施に至らなかった事業があり、結果として成果を満たすことができていない目標がある。</p> <p>前年度と比較し利用が減少している路線があるものの、利用者の移動ニーズを反映した運行ダイヤを翌年度から実施するべく検討を行うことができたため、A判定とした。</p> <p>[年間利用者数/1日平均利用者数]</p> <p>① 東島線 ・928人 ・17.8人/日</p> <p>② 東谷線 ・737人 ・14.5人/日</p> <p>③ 中里線 ・31人 ・0.3人/日</p> <p>④ 中ノ川線 ・190人 ・3.7人/日</p>	<p>① 町内の公共交通利用者数を維持する (町内の公共交通利用者数が1日平均:102.49人を下回らない) ※平均値は令和2年4月～令和3年3月までの実績値から算出。 令和4年度の実績値 ・高知東部交通:5,105人 ・安田駅:18,063人 ・唐浜駅:5,806人 ・やすら号全路線:1,886人</p> <p>計:30,860人(84.55人/日) ※当初目標:102.49人/日 【目標達成率】82.5%</p> <p>路線バスや鉄道、コミュニティバス全体で利用者数が落ち込んでいる。特に鉄道での落ち込みが大きく、未だにコロナ禍の影響を受けていると考えられる。</p> <p>■コミュニティバス 【利用者数】1,886人/年 (対前年比:90.5%) (対前々年比:88.2%) ※()内は前年度実績 東島線 928人(1,111人) 東谷線 737人(717人) 中里線 31人(69人)</p>	<p>昨年度に引き続き、路線バスや鉄道では新型コロナウイルス感染症の影響を受けた結果となっている。日常的な公共交通網の利用拡大を目指し、車を運転できる人であっても鉄道やバスを使える時には使う環境づくりとして、まずは公共交通を体験してもらい、利用者の裾野拡大につなげることが必要であると考え。</p> <p>また、コミュニティバスにおいては、利用者数が減少している路線もあるため、引き続き地区別意見交換会等を通してヒアリングを行い、さらなる利用実態の把握に努めることで、より利用者が利用しやすい運行形態等を模索していくとともに、新規利用者獲得のため周知活動を続けていく。</p>

<p>中ノ川線 190人(186人) 計 1,886人(2,083人)</p> <p>【収支率】3.4% (対前年比: ▲19.0%)</p> <p>入院や施設への入所などの理由により、毎週のように利用してくれていた人の利用が減ったことが大きく影響していると考えられる。 (利用者ヒアリング及び地区別意見交換会の結果より)</p>	
<p>②ICカードですか(記名式)を所持する人を増やす (町内在住のICカードですか所持者が120人となる)</p> <p>令和4年12月27日時点の所持者数:117人 【目標達成率】97.5% (目標:120人)</p> <p>目標は達成できなかったが、イベントでのですか販売出張窓口が所持者数増加に寄与したと考えられる。</p>	<p>令和3年度より記名式ICカードですかを活用した町内バス乗り放題サービス「らく賃おでかけデスカ」の取り組みを開始している。</p> <p>今後さらにサービスの周知を行い、申込者数を増やすことで、記名式ICカードですかの所持者数増加を図る。</p> <p>併せて、バス乗り方教室等を実施し、記名式ICカードですかについて周知するとともに、利用者拡大を図る。</p>
<p>③町中心部の賑わい持続につなげる (中心部施設の利用者数が108,176人を下回らない)</p> <p>令和4年度の実績値 118,225人 (令和3年度実績値 110,695人) (対前年比:106.8%) (対前々年比:105.0%)</p> <p>【目標達成率】109.3% (目標:108,176人)</p>	<p>令和3年度より、町内施設と連携し、公共交通の利用促進と町内店舗への誘客を目的として、「利用者特典サービス事業」を開始しているが、その他にも町内施設と連携してできる取組を模索していく。</p>

					対前年比でいうと大きな差異はないものの、目標数を上回ることができた。	
					④公共交通を使った観光ミニツアーの参加者数を増加させる (観光ミニツアーの参加者数が前年比20%ずつ増加する) C 令和4年度の実績値 0人 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、予定していた観光ミニツアーの実施ができなかった。	新型コロナウイルス感染症の状況を見つつであるが、車を利用する世代や、これまで公共交通を利用してこなかった人たちに、公共交通を利用するきっかけとなる仕掛けを行う。